



「超我の奉仕」
2005-2006 年度国際ロータリーのテーマ
RI 会長 カール・ヴィルヘルム・ステンハマー
第 2640 地区ガバナー 平尾寧章



海南東ロータリークラブ

ROTARY CLUB OF KAINAN EAST

RI District 2640 Japan

第 1442 回例会 18 年 5 月 8 日(月)

海南商工会議所 12:30~

1. 開会点鐘
2. ロータリーソング
3. ゲスト紹介
4. 出席報告

会員総数 74 名 出席者数 50 名 出席免除会員 2 名
出席率 69.44% 前回修正出席率 77.78%

5. 会長スピーチ



会長 塩崎博司
みなさんこんにちは。本日、台湾からの米山奨学生 王 慧芝さんようこそおいで下さいました。来年の3月まででございますけれども一つこれを機会に日台友好のために会員ともなじんできまして、日本の文化等いろいろなこ

とを吸収して頂きたいと思います。よろしくお願ひ致します。また、本日は来年度委員会別に座って頂いて、来年度の活動計画等話し合ってすばらしい次年度にしてください。

6. ゲスト自己紹介

米山奨学生 王 慧芝さん



皆さまはじめましてこんにちは、台湾から参りました米山奨学生の王慧芝です。現在桃山学院大学経営学部 2 年生です。日本語はじめ、まだまだわからないことばかりですがどうぞよろしくお願ひ致します。

7. 次年度委員会別・クラブ協議会

次年度会長の新垣勝君から、地区協議会の報告として「クラブ会長部門ですか、詳しいことは 7 月に入っ

てから申し上げます。次年度の RI 会長テーマは「Reed The Way」率先しよう！であり、強調テーマは水と保健、飢餓と識字率の向上で、平尾年度とそう変わりません。殆ど国際奉仕の部門です。三軒エレクトの方針としては、出席率の向上、メーキャップの推進であります。ロータリーらしい社会奉仕の活動、WCS の積極的な参加をお願いします。また、CLP への取り組みなど、次年度の各委員長の皆さんにはクラブ委員長会議等への出席方よろしくお願ひします。なお、次年度の活動計画を早めにご提出ください。次にクラブ奉仕部門ですが、まず、会員増強について、今年度は 7 名の入会があり、素晴らしいことだと思います。また、情報規定委員会では、規定審議会や CLP について、勉強してください。雑誌広報委員会では「ロータリーの友」ダイジェスト版のホームページを有効に活用してください」との報告が行われました。

引き続き、次年度職業奉仕委員長の口井健司君から、ライオンズクラブとロータリークラブの奉仕の考え方の違いを理解してほしい。クラブフォーラム、例会の会員卓話で職業奉仕について話す機会を増やすなど理解を深めてもらえる活動をしていきたい。次年度社会奉仕委員長の中西秀文君は、ロータリーの会員が主体となって取り組みたい。また、次年度新世代委員長（代理）の山田耕造君は、青少年問題への取り組みが必要。ローター アクトのメンバーが減ってきてるので、会員増強に取り組んでほしい。更に次年度幹事の吉野 稔君は、クラブの幹事は会長とのコンビネーション、会員とのコミュニケーションが大切。印象に残ったのは「クラブの会長は二度やりたくないが、幹事は何度やってもいい」とのこと。次に次年度財団委員長の花畠重靖君は、第 2640 地区は模範地区です。世界でベスト 10、日本ではベスト 3 に入っている。引き続き協力をお願いします。続いて、次期米山奨学会委員長の小椋孝一君は、米山奨学会は日本で最大の民間奨学団体であり、これまで多くの奨学生を受け入れてきた。世界平和の一助となるよう努力していきたい。本日、出席の王 慧芝さんも台湾出資の米山奨学生です。引き続きご協力ををお願いします。

8. 次回例会

第 1443 回例会 平成 18 年 5 月 8 日 (月)
情報勉強会 18:30~ 海南商工会議所 4F

四つのテスト

- | | |
|----------|----------------|
| ①真実かどうか | ③好意と友情を深められるか |
| ②みんなに公平か | ④みんなのためになるかどうか |



事務所 〒642-0002 海南市日方 1294(海南商工会議所内)

電話(073)483-0801 FAX(073)483-2266

会長：塩崎博司 幹事：木地義和 SAA：山畠弥生

*** ニコニコ・BOX ***

宮田貞三君

結婚記念に花束を2束いただきました?

平尾寧章君

1カ月程、欠席しました。4月は記念大会のラッシュで飲むことが多く、大変です。あと少し、頑張ります。

田村能孝君

花束、有り難うございました。

塩崎博司君

王 慧芝さん、1年間よろしくお願ひします。

〃

〃

木地義和君

柳生さん、有り難う。一生懸命きれいになります。

山畠弥生君



ROTARY WORLD MAGAZINE PRESS

ロータリーの友

十代の若者、障壁を越へて社会改革へ

北アイルランドの高校生6人が、今週休みを取り、アメリカを訪ねて、人種、宗教、音楽の好みに関係なく、世界中で皆が同じだという事を覚りました。参加者の一人、ケリイ オレイン君は“皆が一緒になった時、皆が同じ事に興味を持っている事が判りました”と語り、更に”私はカトリックの学校へ行っている為に他の宗派の人達と混ざる機会はありませんが、この旅行で多くの事を学びました”と述べました。

北アイルランドのベルファーストRCと、アメリカ、イリノイ州のハイランドパークRCが創った”理解を深めよう計画により、16から18才の子供達が10日間、シカゴ近辺を訪ねました。今年で、15年目のTABUは、北アイルランドとアイルランド共和国の間、更に、米国内の学生達との理解と、受入れの増進を奨励し、更なる理解を促進する為に創されました。”我々の持ち続けた目的は、異なる背景を持つ若者を一緒にする事で、一緒に紛争解決に関する事を学ぶ事です。更に大きな目的として、究極は、お互いの社会を良くする事です”と今度のアイルランドからの一行のホスト役を勤めるハイランドパークRCのニールダールマン会員が説明しました。TABU計画は、毎年、アメリカとアイルランド側が一年毎に受入れと送出しを行い、送り側のロータリークラブが参加者の旅費を払い、宿泊は受入国の10代の子供の居るロータリアンの家にゲストとして泊まります。今年はベルファーストの番で、始めての試みとして、カトリックから3名、プロテスタントが2人、回教が1人、合計6名に、3人のベルファーストRCの会員がグループに同行しました。”私の障壁は、他の人達と異なり、カトリックとプロテスタント間の抗争に関係が無いので、異

なる文化という問題がありました。然し、この旅行から学んだのは、実際には我々は同じだという事で、私も世界を開いて呉れました”と、タミン モベイド君が語りました。この経験が契機となり、今迄にTABUの参加者が紛争解決と国際関係の分野に進む者が出てきました。TABUの一員として、2000年に米国のハイランドパークを訪問したテリー マッギネス君が、現在、国際法の学士課程にあり、今夏には、ニューヨークの国連地球政策フォラムで勉強をする事になっております。マッギネス君の言葉”TABUが他の国や、信義、文化等を学ぶ事を奨め、私の一生に強い国際的な正しい見方を与えて呉れました”。今年の参加者は、ハイランド高校の一日の他に、ホームレスのシェルター、シカゴ警察、五大湖・海軍訓練センター、名誉毀損対策協会等を訪問しました。

ドイツのロータリアンが ニューオーリンズの楽士を支援



Hurricane Katrina
August 2005

ドイツの友人のロータリアン達が、会員のエルマー・ホフを”ニューオーリンズ狂”と呼び、氏はニューオーリンズと音楽を深く愛して、ハリケーン・カトリーナの被害を受けた楽士達へのドイツ全国規模の支援運動を始めました。グロナウイウロギオ (G r o n a u - E u r o g i o) RCの次期会長のホフ氏は、毎年4月にグロナウで開催される国際的に有名なジャズ祭の創始者で組織者です。長い間、この催しに関与していたので、ニューオーリンズの多くの有名な音楽家と、個人的に親しくなり、ニューオーリンズの名譽市民にもなました。ホフ氏は、ニューオーリンズを自分の第2の故郷と呼び、ニューオーリンズの楽士達を援助するよう、クラブに働き掛け、2005年4月に行われたクラブ資金募集の3分の1をニューオーリンズへ送るよう説得し、自己資金も一緒にして、総額、米貨12,000\$をニューオーリンズで、医療保健に加入していない楽士や家族を助ける為に送りました。更に、ホフ氏はグロナウ町の”ニューオーリンズを助けよう”キャンペーンを立ち上げ、それがドイツ国内の支援の中心になりました。2006年3月迄に、町の文化部が米貨73,000\$を支援金としてニューオーリンズの音楽家に送りました。この支援に感謝して、今年の夏には、ニューオーリンズの楽士達が全欧州でジャズ祭を行います。”私は、ロータリー発生の国の友人達を支援する人達に深く感謝しております、困難な時にこそ、一緒に苦しみを分ち合う事に感激しております”とホフ氏が述べました。

